

1 子ども施策について

- (1) 「子育てするなら磐田」を前面に出されている渡部市長の現在の磐田市子ども施策の総括を伺う。また、来年度の子ども施策の重点施策を伺う。さらに、今後人口減少が現実化する中、中・長期的な方針があれば伺う。
- (2) 子ども施策は今後、多樣的、持続的、体系的な取り組みが重要と考える。就園前対象の子育て支援センター数の適宜は。最近、地域で子育てサロンが増えてきているが充実させていくのか。子どものあらわれがさまざまになってきている。0歳から18歳までの子どもたちを包括的にかかわる児童館を機軸とした子ども施策が現在、求められていると考える。市長の見解を伺う。
- (3) 磐田市は定員400名増の保育園待機児童対策を行ってきた。実際の現況と効果を伺う。新制度に移行するにあたり課題や親御さんの反応はどうか。公立・私立認定こども園の申し込み状況はどうか。また、地域型保育事業所の施設はあるのか伺う。申し込み状況もあわせて伺う。
- (4) 幼い子どもの発達には自然の中で遊ぶことが重要である。子ども施策に今後「元気で屋外で遊ぶこと」を優先的に盛り込むことを提案するが、市長の見解を伺う。
- (5) 子どもの貧困が深刻化している。法律も整備された中、実態把握の状況と来年度具体的な施策があれば伺う。
- (6) 子どもの虐待の現状と対応について伺う。
- (7) 発達支援室が設置され、発達支援センター「はあと」が充実する中、早期療育を求める児童が増えている。  
通所受給者証を取得するまでに2カ月以上かかるという実態への把握と対策を伺う。
- (8) 食物アレルギーを持つ子どもが増えている。磐田市立総合病院にアレルギー専門医設置を求める声があるが対応は。学校給食における食物アレルギー対応の進捗は。

## 2 地域防災について

- (1) 津波とともに、地震による家屋倒壊や火災予防等が重要である。家庭や地域で行う防災対策の現状と課題について伺う。

木造住宅耐震補強工事、ブロック塀の倒壊、家具の転倒防止

家庭や地域での防災備蓄

要援護者台帳の作成と要援護者の方々の防災訓練への参加

地域の小さい単位での住民全員参加型防災訓練

火災予防対策

- (2) 福祉避難所について伺う。

磐田市の福祉避難所の定義と運用のフローチャートを伺う。

協定施設名と、協定施設と市の役割は。今後、備蓄や訓練を行っていくのか伺う。

聴覚障がい者、視覚障がい者、発達障がい者（子ども）等の機能障害別対応を伺う。

- (3) 「防災見える化」について伺う。

指定救護所や福祉避難所の看板を掲げてはどうか伺う。

浜松市がスマートフォン対応の防災用アプリを作成した。磐田市の対応を伺う。